Partial Translation of JP63-251409 (Ref. 6) (June 9, 2010)

Title of the invention: CATIONIC OLIGOMER

Publication No.: JP63-251409

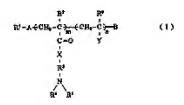
Publication Date: October 18, 1988

Filing No.: JP62-85814
Filing Date: April 9, 1987

Applicant: NIPPON CATALYTIC CHEM. IND.

Claim 1

A cationic oligomer comprising a low molecular weight polymer having 500-10,000 of an average molecular weight and being represented by general formula (I):



[wherein R^1 is a C_{6-18} alkyl group; R^2 and R^6 are independently H or CH_3 group; R^3 is $-CH_2-CH_2-$, $-CH_2-CH_2-CH_2-$ or $-CH_2-CH(CH_3)-$; R^4 and R^5 are independently H or a C_{1-3} alkyl group; A is a divalent organic group; B is H or a monovalent organic group; X is -O- or -NH-; Y is $-COOR^7$ (wherein R^7 is a C_{1-18} alkyl or C_{2-3} hydroxyalkyl group), $-CONR^9R^9$ (wherein R^8 and R^9 are independently H or a C_{1-3} alkyl group), -C=N or -Ar; m is an integer of 2-100; and n is an integer of 0.1-100], an organic or inorganic acid salt of the low molecular weight polymer, or a quaternized polymer

of the low molecular weight polymer.

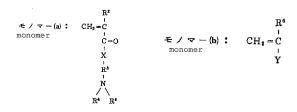
Technical Field

The present invention relates to a hydrophilic, cationic oligomer which is useful as an emulsifier or treating agent for fiber and paper and the surface thereof.

Problems to be Solved by the Invention: To obtain a hydrophilic, cationic oligomer comprising a low-MW polymer of a specific structure, an organic or inorganic acid salt thereof or a quaternized product thereof, which is excellent in surface activity, in pene treating into textile and paper and in water resistance and is useful as a treating agent for these materials or as an emulsifier.

Partial translation of detailed description (August 11, 2010)

The cationic oligomer of the present invention has a structure that an alkyl group is connected to a terminal of an oligomer, which is obtained by radically polymerizing at least one polymerizable monomer as an essential component selected from monomer (a) represented by the following formula, an organic or inorganic acid salt thereof or a quaternized product thereof, and optionally, monomer (b) as a copolymerizable component represented by the following formula:



wherein R^2 to $R^6,\ X$ and Y are as defined in general formula (1).

Monomer (a) to be used in the present invention is a (meth)acrylic acid ester having a basic nitrogen atom therein or (meth)acrylamide derivative, and specifically includes: a basic (meth)acrylic acid ester compound, such as aminoethyl (meth)acrylate, aminopropyl (meth)acrylate, dimethylaminoethyl (meth)acrylate, diethylaminoethyl (meth)acrylate, or dimethylaminopropyl (meth)acrylate; and a basic (meth)acrylamide compound, such as aminoethyl (meth)acrylamide, dimethylaminopropyl (meth)acrylamide, dimethylaminopropyl (meth)acrylamide, dimethylaminoethyl (meth)acrylamide, aminopropyl (meth)acrylamide, dimethylaminopropyl (meth)acrylamide, aminopropyl (meth)acrylamide, and they may be used alone or in combination thereof.

Monomer (b) to be optionally used in the present invention is a monomer which is preferably copolymerizable with monomer (a), and specifically includes: an ester compound of (meth)acrylic acid and C_{1-18} alkyl alcohol, such as methyl (meth)acrylate, ethyl (meth)acrylate, butyl

(meth)acrylate, 2-ethylhexyl (meth)acrylate, lauryl (meth)acrylate, or stearyl (meth)acrylate; a hydroxyalkyl (meth)acrylate, such as hydroxyethyl (meth)acrylate or hydroxypropyl (meth)acrylate; a (meth)acrylamide-type compound, such as (meth)acrylamide or N,N-dimethyl (meth)acrylamide; (meth)acrylonitrile; and styrene, and they may be used alone or in combination thereof.

An average molecular weight of the cationic oligomer according to the present invention is within the range between 500 and 10,000 (translator's note: In particular, about 900, 1500, 7100, 1000, 1400, 5000 and 1200 were measured in the working example). If the average molecular weight is out of the range, the oligomer will be disadvantageous in that its interfacial activity or water-proofness degrades.

Pa ial Translation of JP63-251409 (Ref. 6)

Title of the invention: CATIONIC OLIGOMER

Pullication No.: JP63-251409

Publication Date: October 18, 1988

Fi ng No.: JP62-85814

Fi ing Date: April 9, 1987

Apr icant: NIPPON CATALYTIC CHEM. IND.

Claim 1

A cationic oligomer comprising a low molecular weight polymer having 500-10,000 of an average molecular weight and belong represented by general formula (I):

[Wi mein R^1 is a C_{6-18} alkyl group; R^2 and R^6 are independently H $_{1}$ CH $_{3}$ group; R^3 is $_{2}$ CH $_{2}$ -CH $_{2}$ -CH $_{2}$ -CH $_{2}$ -CH $_{2}$ -OH $_{2}$ -OH $_{2}$ -OH $_{2}$ -OH $_{3}$ -OH $_{4}$ -

Technical Field

The present invention relates to a hydrophilic, cationic of commer which is useful as an emulsifier or treating agent for fiber and paper and the surface thereof.

Proclems to be Solved by the Invention: To obtain a hydrophilic, cationic oligomer comprising a low-MW polymer of a specific structure, an organic or inorganic acid salt the eof or a quaternized product thereof, which is excellent in urface activity, in pene treating into textile and paper an in water resistance and is useful as a treating agent for the a materials or as an emulsifier.

⑩ 日本国特許庁(JP)

10 特許出願公開

母公開特許公報(A) 昭63-251409

大原的大阪市東区高麗橋5丁目1番地

@Int 10.5	. In I	識別記号	厅内整理番号	40公開	昭和63年(1988)10月18日
C 07 5 93 103 103 121	1/34 3/18 3/44 3/64 1/407 1/417		7457-4H A -8519-4H A -7419-4H Z -7327-4H Z -7327-4H※審査請求	未請求	発明の数 1 (全7頁)
❷発明σ 芸術	カチオン	/性オリゴマー			
			262—85814 362(1987)4月9日		
◎発 書	告 田	雅年	大阪府吹田市西御旅町 社中央研究所内	5番8号	日本触媒化学工業株式会
母発 □ 者	泉林	益次	大阪府 吹田市西御旅町 社中央研究所内	5番8号	日本触媒化学工業株式会
@発 □ 者	松永	俊 明	大阪府吹田市西御旅町 社中央研究所内	5番8号	日本触媒化学工業株式会

最終で使く

101 21

日本触媒化学工業排式

1. 発明 ** ** **

カーオン性オリゴマー

会社

2. 特許: 9 範囲

1. - 1 (1)

(但し、 ***、 R* は炭素数 6 ~ 18 のアルキル基 であり、 ** 3 C R* はそれぞれ独立に水藻又はメチ ル基でも **、 R*は - CH₂ - CH₂ - CH₃ - CH₃

CH,

- COOR* (R*は炭素数 1 ~ 18のアルキル基又は 提が れっ~3のヒドロキシアルキル基を示す。)、 - CON へ (R* 及び R* はそれぞれ独立に水繁又

R[®] は炭素数1~3のアルキル基を示す。)、-C=N

又は - 〈) であり - mは 2~100の筋数であり

11は0又は1~100の整数である。)

で売わされる平均分子量500~10000億分子以来6件又は該低分子量重合体の有機限もしく は無機械の提及は該低分子量重合体の四級化物で あるカチェン性オリゴマー。

3. 発明の詳細な説明

(産業上の利用分野)

本発明は乳化剤、繊維処理剤、紙処理剤、表面 処理剤として有用な新水性カチオン性オリゴマー に割するものである。

(従来の契衡)

※来から分子内に塩基性温素原子を有するビニル系モノマー、個をピービニルビリはソウマリル

アミンカ を重合して得られるカチオン性ポリマ 一又はボーゴマーは公知であり、職権や紙の机器 刑等、 生ポリマーとしての応用が試みられて いるが、 同話性能が無いか或いは有つても小さ

いもの。 るため模様や紙への浸透力が弱く、よ

つて処! まとしては不充分であり、又耐水性に 劣るため 引久性も満足できるものではなかつた。

更に乳化して満足に使用できるものでもなか

つた。一、、例えばステアリルトリメチルアンモ ニウム!」ライドの知さ、ほ分子類のカチオン性 界面活 1公知であるが、繊維や紙の処理所と

して使用 っには耐水性が不充分であつた。

(発明: としようとする問題点)

本発力 1的は、優れた昇面哲性能を有し、福 載や紙へ 三这性や耐水性が促れることによつて、

とれら ** 制として好旅に用いるととができ、

更に乳化したしても使れた性能を影響する製水性、

カチオ: トリゴマーを提供することにある。

(問題 決するための手段及び作用)

本金 は、特定構造で特定分子量の低分子

「は炭素数1~18のアルキル差!け 炭素数 2 ししヒドロキシアルキル施を示す。)、

(R'及び R'はそれぞれ独立に参照

~ 3のアルキル茶を示す。)、-C=N

又は 一仁

- であり、mは2~100の監数であ

b n l は1~100の整数である。) で思 わされる 分子量 500~100000低分子

重合体とは 成分子は前合体の有機酸もしくは原

機関の『又:政処子量並合体の照数化物である。 チオン ゴマーに関する。

* 3

テオン性オリゴマーは、下記一点式 で扱わ: モノマー(a)、該モノマー(a)の有標準

6 L (1 伝の塩及び飲モノマー(4)の四級化物 から迷 少なくとも1担の重合性単量体で

須成分と 必要により下記の一般式で扱わる。

るモノマー を共量合成分に用いてラジカルです して狩り

たおど 2.

又比於

※分に薄足するものであることを見出し本発明に 到達したものである。

並 女合作、その塩又はその四級化物が前記目的を

和ち、本活明は、

一枝式(1)

(但し、式中、RIは炭素数6~18のアルキル基 であり、 R* 及び R* はそれぞれ 欲立に水累又はメチ ル差であり、R*は -CH₂-CH₂-、-CH₂-CH₂-CH₂-CH,

翌は - CH--CH- であり、PF及びPはそれぞれ故 立に水系又は炭素数1~3のアルキル基であり、 人は2個の有機基であり、Bは水梁又は1個の有 根差であり、Xは −O − 又は −NH− であり、Yは

7 - (0): CH-=C R* 17-11:

(但し、式中のR²~R⁴、X及びYは一般式(I)に むいて症染したものと同じである。)

本発明にかける低分子量重合体は分子末端に長 鎖アルキル茶を有することが特徴であり、分子宋 増に長丝アルキル基を導入するには程々の方法に よるととれてきるが、以下の国および国の方法に よるのだ有利である。

長軽(緑菜数6~18)のアルキルメルカプ タンの 挙る 下井 動め小おのも人物エー・

特開昭63-251409(3)

モノ な必要によりモノマー(1)を共産で選 塩光性空出原子を有する(メダ)アクリル酸エス 2 1 「景合する方法。 テル又は(メタ)アクリルアミド誘導体であり、 ② ½ · 「夢、カルポキシル茶、アミノ煮. ハ 具体例としては、アミノエチル(メタ)アクリレ などの如き反応性素を有する(《住 ート、ミミノプロピル(メタ)アクリレート、ジ (r) 10 しのも含む)反応性磁含有関的弱か メチルーミノエチル(メタ)アクリレート、ジェ 11 又は反応性悪含有能頻移動剤を用いてモ チルアミ / エチル (メタ)アクリレート、ジブロ 17 1、必要によりモノマー(b)を共重合成分 ピルアミノエチル (メタ)アクリレート、ジメチ 区用 当むして分子末端に反応性患を有する ルアミノ プロピル (メタ) アクリレートなどの如 オト を含成し、次いでとの分子末に、当 ・ き塩基は (メタ) アクリル酸エステル化合物類: 120 意と反応しうる些(例えば、方です、 アミノエチル (メタ)アクリルアミド、アミノブ 21 1 ル据、アミノ器、イソシアネー。焦、 ロビルーグミうアクリルアミド、ジメチルアミノ IL : 、アジリジン恋、オキサゾリン 等) エチル(* 2) アクリルアミド、ジメチルアミノ Ł .-~18のアルキル店を有する付しも プロピー メタ) アクリルアミド、ジェチルアミ (1 * 「キル化剤と記す。)を反応させる方 ノエチル《メタ)アクリルアミドなどの如き塩米 法。 性(メダ)アクリルアミド化合物類等を挙げると 64 ** むうち、©の方法は、重合と同じて とができ、これらの内の1種又は2種以上の私会 进护 ルキル選の導入された低分子員 会 質を使用するととができる。モノマー(a)は低分子 体がこ いで反応工程が網路化でき、引き 於單仓(→ 子中卡モノマー(a)単位が2~100 利でき ださ有 うな厳で使用する。モノマー(a)の使 * いて使用するモノマー(a)は分子 に 用えが 量重合体1分子中モノマー(a)単位が -- 7 w-

-8-

2 1 単位が1 一個以下となる量で使用する。使用量 r b 学量が大きくたりすぎていずり プ : 配の計 り多いと界面活性能が低下する。又 面然 アナる。 + /マー・中で特に親水性の低いモノマーを使 7 いて必要により使用するモノマ) 11 -3 、カチオン性オリゴマーの水溶性又 はモ と我我合作の長野なモノマーで う、 1 水分 火用上支障ない範囲に維持できるよ 具体 は、(メタ)アクリル酸メチル (* : りル被エチル、(メタ)アクリー社 ブチル ラ)アクリル版2-エチルへキシル、 () リル敵ラウリル、(メタ)アミニレ 砂ス・ ○知を(メグラアクリル酸と) ホキルアルコールとのエステル 1~ 3 19 mm 物製)アクリル際にドロキシエチル: 126 (× -リル版ヒドロキシブロピルなど 2 - X ŧ (プリル限ヒドロキシアルキルが メルカ (3 : リルアミド、N.N - ジメチル (***) アク " ドなどの如き(メタ)アクリルフミ

)アクリロニトリル:スチレンデギ

だてき、これらの内の1種又に き

で使用することができる。モノ

资分平省首府信1分平申モノニ

ド類

を挙り

以上。

(b) 00 =

うにそ はと使用量を選択して使用すべきであ 本発門にかける低分子量重合体を合成する前記 ① 立方 - いて使用する長額のアルキルメルカ ブーン! 以6~18の直鎖状又は分枝状の脂 ルメルカプタン等であり、その具体 何をはn-ヘキシルメルカプタン、 キシルメルカプタン、n-オクチル

/、ラウリルメルカプタン、 t - ドア シルメバップタン、セチルメルカプタン、ステア リルメージタン等を挙げることができる。

ける低分子量組合体を合成する前記 (一)方 いて使用する反応性独合有開始制は 5116 刑切片によつて開始され生長したオ 1-15-5 计图片小加工 计电报主制电路 土

特開昭63-251409(4)

11	『反応性基を付与するととのできるす	アルコー 、ステアリルアルコール、オレイルア
ゾ化	つは退催化物であり、例えば、	アコー ** この如き脂肪族アルコール額:ラウリ
7 7	- シアノベンタノイツク殴)、 .2*	*** リン酸、オレイン酸などの如き脂肪
- T	N,N-ジメチレンイソプチルフミジ	
ν).	- アゾビス(3~アミジノプロバー)	*************************************
2 媒	放化水素、: - ブチルハイド:: ! -	たどの 一筋振イソシアネート類 ; 炭素数 1 2
オキ	タメンハイドロパーオキサイド 、ど	と14 ・ 含αーオレフインのエポキシ化物、ド
を称し	がてきる。久、③の方法にかい、後	デシル シジルエーテルの如きエポキシ化合物
用于一	※含有邊鎖設別別は退頭移動! に	類:N ジルアジリジンの如きN-アルキル
ro	マー分子末端に水配拠、カルオ シ	プリリ ; 2-オクチルオキサゾリン、2-
ル花	罪、ハロゲン原子などを付与する。	ニーア キサゾリンなどの如きオキサゾリン
化合	学、その具作得として性、例えてイ	1 十枚 がげることができる。
ルカ	ノール、チズグリコール膜、シーミ	が する低分子盤重合体を前記①の方法
ŧν.	アミン、暗塩化炭素、四臭化ド素、	ドニコ 場合は前配の長銭アルキルメルカブ
F U ≟	ロモメタンなどを挙げるととが、き	ダンス ②的少量のラジカル重合開始剤を用い
る。	において使用するアルキル化ド す	て、② 「放政合法又は塩状重合法の手法で重
g or a	デ増の反応性過ぎ、付加反応、 美	むたが、次合する。との際、オリゴマー分子
反応	応などの反形によつて結合し を	ス N アルキル站を導入するためには、ラ
を有:	☆6~18の顧詢族與化水業で 3、	・ 川耳 ・剤/長鎖アルキルメルカプタンの
例点	テルヘキシルアがコール、ドチール	* リリアの範囲とするのが好ましい。

-11-

ン性オリゴマーとして各用途

三、該低分与資東資本の有權所 /

本务

用し

-12-

オリゴマーであるために界面活性

油性物質の乳化剤、乳化重合用乳

(i)	よる場合は、まず、反応性薬者 関	11 11	本発明のカチオン性オリゴマーとし
始到	※は反応性等性事効別を用いて 3	7 16	能低分子量変合体の塩や阻級化物
知の	限又は換れ資金法の手法でモノ -	\$ 2	しては、該低分子量直合体を蟻酸、
を斯	この鋭まりポテー分子来離ド ミ	F	*ン酸等に代表される有機酸、塩酸、
KT.	等以才是充足的性。 反応性等 。 。	t) . 100	に代表される無機酸や炭素数1~
Bil più	急運員移動調を計用するのが好 、	1 01	・化アルキル、ハロゲン化ペンジル
v.	当有開始期の今によつて反応性。を	医黑斑疹	部級化剤で処理しても良く、艾、煮
導入。	※最移動の延りやすい底加剤、 線、	在門際	マー(回の代わりに敗モノマー(回の省
モノ・	- 使用しないのが好ましく、デ 夏	# 1	後機酸の塩や酸モノマー(a)の四級化
15 H	っつみによつで食的性薬を導入 5	# 10	□しても良い。又、必要であれば裕
E9 12	(宣合開始系/長尼住達最移址)	#	全部を留去求いは他の溶媒に置換し
€ B	以下の範疇とするのが好すし	7. 36:	、 乳化剂、槭維処理剂、紅処理剂
本が	* ン世オリニマーは平均分子 (2 %	当つては水を主体とする溶雑系で
5 0 u	○0の範囲でもる。平均分子量 こ	\$ 0 E	ಿ ಕಿತ್ತಿ
O E :	3と外面循紅症が劣つたり、前 生	(9)	j
加纳	。 5. 下里放点次。	14	チオン性オリゴマーは分子末端に長
۲	つれる低分子蒸賞者作は、その 生	1 / ₁	※ 有し特定構造のカチオン性モノマ

·

特間昭63-251409(5)

間差	景品の耐水化制、均柴剤、帯電す」	Ł
剤、	どの処理器として、効果が大き 12	ġ.
25	素性に優れてからものである。	
(\$-		
18	別を実施的によって更に詳してで	A
する	製材とれらの製によつて限定や	5 .
60	。尚、例中特にことわりのない。	b
部村	、男は重量易受災わす。	
尖》		
F 10	到智、简子中一下、战度时、17 章;	H
71	高えたフラスコにイソプロバノー	v
3 1	込み批拌下、豆並ガスをゆるセット	C
the t	ソプロパノールの対抗温度は、	4
レカ	※企開始別としてアゾビスイ **	4
n z	が加し、ラジので描下ロートだっ	5
6 /	当れたインプロバノール7068。	
€.	してジメチルアミノエチルメイク	
ν	※、投頭アルキルメルカプタニー!	L

5 × けた。獨下終了後1時間経過した時 11 -5 ーとしてアゾビスイソプチロニトリ E 5 し、更に3時間批拌をつづけた。そ : 0 0 maHg圧力下でイソプロパノ 当当量を留去し、水を加えて不得発 5 - 5 別製して、カチオン性オリゴマー箱 11 12 得られたカチオン性オリゴマーの平 # 12 1900でもつた。 9

(及びモノマー(b))、長鎖アルキル 1 13 として第1表に示したものを用いる 31 . 19 -(11)~例を得た。

-150

カプタン 1 6 窓の混合物 時

了した。房下一丁提も建龍祖!

-16-

\$ 8 F. .

	7100	1000	1400	9009
	25	150	130	Ç7 .
	メルナリル	ドチンカテ ルカプケン	メチナリルメルカブテン	-67 mm 000
			200	200
	1		モドロキシ ニテルナク リレート	7
	600	609	700	200
1 4 CA	メタクリロイ ロキンエチェ トリメネルデ	STAFAULS TYANGE FUNTSE	ジメチルケミ ノブロゼルケ クリルツミド	(R) CANALANT OUG
	E	(F.)	3	E

ナ リゴマー溶液(W) とする。 35 ※ () 選擇下盥業ガスをゆるやかに渡しな が、f ミエールの建筑温度まで昇温した。そとへ を 、 うづいて渡下ロートよりあらかじめ関 ま 連連鎖移動剤としてメルカプトエタ ノーマートしたびジメチルアミノエチルメ多クリ パ ・ ()部の混合物を3時間に亘つて満下 し、『後も遺流温度に保ち、滴下終了後 1 元 (京 た時点でアゾピスイソプチロニトリ ノ こお、し、更に3時間投择をつづけた。次 い こっ ジプチルスズジラウレート 0.5 形を i いてステアリルイソシアネート230 1 三つて滴下した。更に4時間遺光強

131 報

7

NRI I

特開昭63-251409(6)

7	595 新福島旅主電法し、水を一て
不	りあとし、総合を加えてpH 0
K	チオン性オリゴマー俗被(W) * た。
梤	キン惟オリゴニーの平均分子 特
1	stc.
Æ ·	

61

4

ij.

B: -

ナ

30

21

70

た。 比·

72

シカプタンの採用量を5部と、「こ 引1と同様の保存をくり返し」 9 2000でを変比較用カチオ ナ (1)を得た。

のカプタンのほりにオクチル カ が使用し、ジグチルアミノエ マメ の資を240回とする他は実 1 2くり返して、牛切分子量が 0 ・チオン様で ゴマー水保証 4

ニカプタンを信用せず、取合! 明 ニイソプチロートリル映30 変

-1 ç-

40 N

· 游歌 布	表 面 截 力	1
, 1)	3 9.7	
5 %)	4 0.9	
11)	4 2.1	1
a) .	3 8. B	
7)	4 3.2	
4)	4 1.5	
5)	3 8.5	
)	4 0.6	
(1)	6 2.3	
1)	4 8.9	
10)	6 5.7	
(*)	5 5.3	

別トリンと 外は突縮例1と同様の操作をくり返し、 アオ 《に長級アルキル描を有しない比較用 カッセンドトリゴマー水溶液側を得た。

J . . 4

1. 1/ ミノエチルメ 久 リレートの代りに と 0 年 1 1 月 1 月 1 日 2 1 日 3

5 9

33 3及び比較例1~4で得られ辛合々 で がて希釈して強度 0.1 分の水部液 を した とれらの製面張力をデューヌーイの 製 り別 用い25℃で制定した結果を第2表 ド 1

-20-

作 用 日本触媒化学工業株式会社

3.1	2.3		
	1.1	識別記号	内整理番号
	20/34 20/60	MMR MNH	8620-4 J 8620-4 J
	13/46		6768-41.
	1/34 3/36		7003-41.